

野党共闘こそ平和の願い、暮らしの願い実現する確かな道

吹田民主商工会

いんぷおめ〜しよん

劇場型選挙に惑わされず冷静な判断を示すとき

国民生活を置き去りにして小池新党代表の得意な劇場型選挙が進行しています。深刻なのは、小池氏の登場と前原氏の動揺で、この総選挙の真の争点が隠れ始めていることです。本来であれば、安倍政権の5年間の総括、森友・加計疑惑解明、消費税、北朝鮮問題、憲法など、平和や暮らしの関わる重要事項で国民的な議論が展開されていなければならぬのに新党騒動はその機会を奪っています。喜ぶのはアベ首相です。政権選択の劇場型選挙は、安倍政権の真の姿、小池新党の真の姿を隠してしまっています。私たち国民はマスコミ報道に惑わされず、冷静に、自分の頭で、この選挙の意味を考えることが重要です。

アベ総理と小池新党代表の共通点はウルトラ右翼

新党の顔ぶれは、自民党の中心にいた人、野党共闘に反対して民進党を離れた人、日本会議のメンバーの人などが中心です。その政策の中心は安保法制Ⅱ戦争法賛成、憲法9条を含む憲法改定に賛成することです。民進党の離党者を新党に受け入れるかどうかの「踏み絵」がこの2点です。小池新党は真正正銘、中身は自民党です。経済政策も新自由主義継承で自民党と同じです。自民党対第2自民党の補完勢力では国民の願いに反します。市民と野党の共闘こそ歴史に耐える奔流です。

逆流に負けず、市民と共産・社民の共闘努力続く

民進党前代表は市民と野党4党の合意を一方的に反故にしました。市民と野党4党は、憲法違反の安保法制Ⅱ戦争法は廃止して立憲主義を取り戻す、国政選挙でできる限りの協力を行うことで、2年間にわたってその関係を強めてきました。前原氏はそれを一夜にして裏切りました。全国各地の地道で誠実な人々の努力を踏みにじる判断です。しかし、それでも市民と野党の共闘の努力は続いています。日本共産党と社民党は29日全国20選挙区で候補者を一本化することに合意しました。また、リベラル派も小池代表の「踏み絵」に反発して「立憲民主党」を結成しました。選挙の劇場型を許さない国民の良識ある声が野合政治を押し返しています。新たな野党共闘の展望が開け始めました。

政策闘わせ1%ではなく99%のための政治実現を

この選挙の争点には、①アベ暴走政治5年間の審判 ②北朝鮮問題は対話・交渉の外交力で解決 ③原発NO ④消費税増税中止、格差と貧困問題解決 ⑤憲法改悪阻止 ⑥辺野古新基地阻止 ⑦核兵器禁止条約批准の政府実現などがあります。アベ自公政権との対抗軸は、小池新党より明快です。「1%のための政治から99%のための政治」に流れを変えましょう。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民と共闘で！

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 6382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

9月の相談活動の特徴

9月の相談では、4名から融資に関する相談が入っています。税金関係の相談は、税務調査で9月も入会があり、近年はこの時期に調査の相談での入会が毎年になりました。税務調査以外でも記帳や届出などの相談もありました。マイナンバーに関わる相談もあり、この制度が各分野に広がることから、これから増えてくると思われます。

9月の相談件数						
経営	金融	4	社会保障	国保	3	
	許認可	6		社会保険	1	
	その他	8		医療	1	
税金	記帳	11	生活	介護	2	
	自主申告	1		生活保護	1	
	源泉	1	共済	年金	2	
	調査	6		給付	7	
	その他	6		その他	3	
労働保険		9	合計		72	
労働保険			共済会			
従業員	資格取得	3	給付	入院	5	
	資格喪失	4		安静加療	1	
	その他	1		死亡弔慰金	1	
			加入			2

税務調査への支援 支部が本人を激励

9月末現在個人業者5名が対象です。そのうち1名が1回目の調査を受けました。他の方は、署員と本人の日程があわず調整中の方が3名（1名は9月中旬を指定しましたが署員の都合がつかせませんでした）、体調が悪く延期を申し入れている方が1名です。今年の特徴としては、日程変更を申し入れると、銀行調査を先にさせてほしいと言われるケースが2名あったことです。今までにない変化です。帳面や資料を見ても反面調査が当たり前になっていないのではないかと危惧します。税務運営方針は「反面調査は客観的にやむを得ない場合に限る」とされており、支部で学習して調査に臨んでいます。

法人化した後どうなる？ 千里山支部

法人にしたものの、各種の届け出の仕方、来年の確定申告の仕方、これからの記帳の仕方についての相談でした。届出については用紙に記入して自分で役所へ届出することになりました。個人業者の期間の集計作業も終わっており、個人業者としての最期の申告の仕方も理解しました。記帳については弥生会計を活用して大変意欲的に挑戦されていることもわかりました。